もっと美味しい ビールの入れ方研修会

レポート：経営企画室　岩井　璃奈

【参加者】社長・常務・川戸筆頭部長・森清部長・石田部長（カルビ屋大福西条店）光永支配人（鄙の料亭地御前）平野店長（ekie店）・リンさん（ekie店）綾部さん（ekie店）・山本店長（OUTLET店）・古西さん（OUTLET店）吉實さん（本部経営企画室）・岩井さん（本部経営企画室）

お客様に喜んでもらえるビールを入れる

ビール入れの超達人

先日、福岡市内にある『酔灯屋』を経営されている株式会社ヴィサーシュの竹内社長のご指導の元、サントリーさんの会場をお借りして『ビール講習会』を開催しました。

竹内社長のお店はサントリーが定める全国でプレミアムモルツを提供する飲食店5万件のうち、高い基準をクリアした上位0.4%、上位220件にしか与えられない『超達人店』の称号を獲得されました。

こだわりの入れ方

竹内社長が、まずビールを一杯注ぎました。それを飲んだ参加者全員が「うまい…！」と。**ビールの最大の敵は衝撃だそうです。衝撃が加わるとトゲのある味になってしまう。乾杯でグラスをぶつけるだけでも味が変わってしまうそうです。静置冷却は絶対条件！樽を動かす時も少しなぬに持つなどお店での管理方法も教えて頂きました。**

ビールに衝撃を与えない注ぎ方と、なめらかな泡の作り方を一人ずつ教えていただきました。**驚いたのは左右の傾け方で味も香りも違う事です。**

普通は、左利きか右利きかで方向を変えるくらいだと思いますが、そこに着目されるのが竹内社長の素晴らしい所です。

研修感想

最初は本当に味が変わるの!?と半信半疑の一同でしたが、本当に味が違うとの事。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。【岩井】

教えていただいた注ぎ方で飲むと、更に美味しかったです。今日の経験を生かしてお店に帰っても、美味しいビールをたくさん注いでいきたいです。【綾部】

以前店長研修で、竹内社長のビールを飲んで、店のアルバイトさんと一緒に注ぎ方を工夫してみると、お客様に「美味しそう」と言ってもらえたりおかわりをいただくことが出来ました。今回習った『もっと美味しいビールの注ぎ方』を、古西さんと一緒に店で広めていきます。【山本大将】

世界一まずい生ビールバカヤロー（平野）

世界最高峰の美味しい生ビールをありがとう（綾部）

平野店長と綾部さんが持たれているように『感謝の気持ちを書いた紙』をサーバーに貼ると味も優しくなるそうです。

リンさんと古西さん

光永支配人と竹内社長

こだわりの味作りに社長も挑戦中!!

【社長より】

実際にお店で働いてくれている方たちに、その場で飲み比べたり体感しながら技術を学んでもらったのはとっても大切な事です。今回学んだ事を、現場で沢山のスタッフに広めてもらいたいです。

コーポレーション ホノルルマラソンへの道 VOL.2

鰻やお盆にむけて忙しくされている中、着々と練習は行われています。今回は西河内さんの意気込みを紹介します。

すし辰　可部店
西河内　瞳さん

【目標タイム】6時間

【ホノルルマラソンを漢字1文字にすると?】

『支』第一に主人、子どもたちの支えがなくては今回の挑戦は出来なかったからです。また、友人職場の方たちの応援も今自分が頑張る力になっています。

【ホノルルマラソンへの意気込み】

目標タイムでの完走とホノルルの景色を楽しめるよう、体をつくっていきたいです。

キャリア(中途)入社社員紹介　8月1日付

●すし鮮呉店勤務●

吉川（よしかわ）　祐和（ゆうわ）さん

はじめまして！食べるの大好き吉川です。他業種からの転職ですが、憧れのあった飲食業なので、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

●鄙の料亭 地御前勤務●

森岡（もりおか）　卓巳（たくみ）さん

歳は21ですが、こう見えて１児の父です。飲食は初めてではありませんが、１から修行という意気込みで、これから頑張りたいと思います。

VOICE　お客様の声

社長へのハガキから

7月到着分

●昔、東広島市にあるすし鮮さんによく通っていました。その後、山口、香川へ引っ越し、他の回転すしチェーンにも行きましたが、満足できるお店はありませんでした。呉に夫の実家があり、帰省したところ、すし鮮ができたと聞き、約15年ぶりに行きました。15年前と変わらず、鯵の骨せんべいがあることに感激いたしました。バッテラは初めて頂きましたが、素材の味が生かされ、とても美味しかったです。帰省したらまた必ず寄らせていただきます。

【香川県丸亀市よりご来店　50代女性】

●夏休みになりました。このお葉書でいただいたように、ご家族が帰省された際に思い出していただけるお店でありたいですね。変わらずの商品、変わらずの味、そして新しい味を発見して、また来ようと思っていただけるように、そして迎えた家族の皆様の安心の笑顔が見れますように、今年の夏休みも頑張っていきましょう。

【本部　小森】

8･9月『図書コーナー』の感想より

くじらの家族

子どものときからクジラが好きでたまらない写真家が、世界のあちらこちらで観察した、クジラの家族たちを紹介してくれます。

●ぼくはくじらがだいすきです。

【6才男の子 西風新都店ご来店】

●わたしはクジラでも種類がたくさんあることにおどろきました。私も将来、もっともっとくじらのことを知りたいなと思いました。

【11才女の子 西条店ご来店】

■編集後記■

毎回色々なドラマがある、富士登山研修。今年は、天気にも恵まれご来光も拝め、無事に全員登頂する事が出来たようですね。予定していても思い通りに行かない事、途中で予定を変更しなければいけない状況になる事、また想像以上の感動や体験も在りうる事･･･。この研修は、様々な事を私たちに教えてくれます。仕事も同じですね。想定外の事態はあらゆるシーンで起こります。どんな場面でも、画一的な対応ではなくその場その場で、お客様に対して正直に丁寧に対応していきたいものです。